



【さんぺい武後援会ニュース】

未来へとどけ！ エコシティ ひたちなか

発行 NO.69

発行日：2025年10月15日

発行者：さんぺい武後援会

住 所：ひたちなか市市毛1077

電 話：029-273-6826

第17回 後援会総会を開催

第17回さんぺい武後援会総会を、8月4日（月）午後5時30分から日立労組水戸支部会館で行いました。当日は、ご支援をいただいている団体・労組・OBの方々和水戸事業所の各職場から62人のご来場をいただくとともに、リモート参加併用での開催とし、多くの皆様にご参加をいただき、近内後援会会長挨拶や後援会の経過報告と活動方針を確認していただきました。

また、「さんぺい武」より議会での活動内容や令和7年度の市予算概要と重点施策、要望事項への対応などを含めた市政報告を行い、盛会に開催出来ました。



御礼の挨拶をする「さんぺい武」



近内後援会会長挨拶



市政報告を行う



多くの方々のご参加、ありがとうございました。

【9月定例議会】

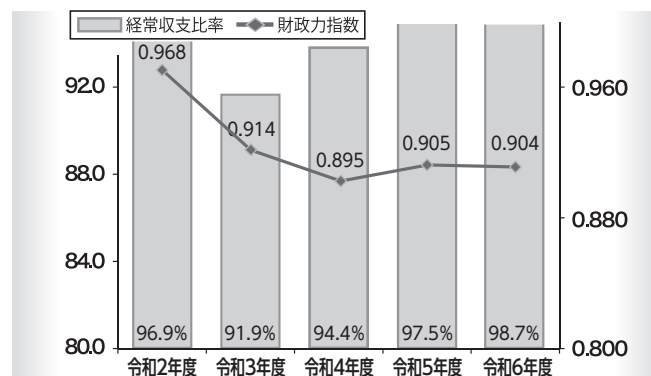
令和7年度第4回ひたちなか市議会9月定例議会が、9月2日から25日間にわたり開催されました。本定例議会では、8件の報告案件説明や令和6年度の一般会計と特別会計を合わせた16件の決算認定議案、令和7年度一般会計補正予算と条例の改正など18件の議案を審議し、全案件を原案の通り可決成立しました。

今回は、令和6年度決算と令和7年度一般会計補正予算の概要、その他トピックスについて報告します。

令和6年度決算について

令和6年度の当初は、一般会計及び13の特別会計を合計して920億7,948万2千円の歳出予算を計上し、雨水幹線整備や河川改修、土地区画整理事業、高場陸橋の4車線化など、安全安心で快適に暮らせるまちづくりに必要な都市基盤の整備に加え、令和5年度から佐和駅周辺地区整備事業や小中学校施設整備事業など39億4,233万1千円の予算を繰越しました。また、日本経済・地方経済の発展のための賃金・所得増加政策や物価高対策などを柱に編成された、国の補正予算への対応にともない、8回の補正予算を編成した結果、一般会計及び特別会計を合計して1,000億7,280万1千円の歳入歳出予算に対し、令和6年度の決算額は、歳入総額983億8,035万3千円、歳出総額934億7,630万2千円になりました。

＜一般会計＞歳入：657億2,296万4千円（前年比2.4%増）
歳出：626億3,838万3千円（前年比1.7%増）
＜特別会計＞歳入：326億5,738万9千円（前年比2.6%増）
歳出：308億3,791万9千円（前年比1.9%増）
〔水道事業会計、下水道事業会計を除く〕



＊経常収支比率：財政の健全性、あるいは弾力性をみる指標です。（80%を超えると財政構造は弾力性を失いつつあるといわれている）

＊財政力指数：財政力の強弱を示す指数で、「1」に近いほど財政に余裕があるとされています。

【決算委員会賛成討論】

9月定例議会の会期中に決算委員会は9月17日～24日まで開催されました。令和6年度各会計の決算議案16件が付託され、私は決算委員として質疑・要望など審査を行いました。歳入については、法人市民税の増収要因からの市内産業の活性化や県と連携した企業誘致の推進など、自主財源の確保を推進するとともに、市民の利便性向上など収納対策を講じること。歳出では、人口減少・少子高齢化の進展にともなう社会保障関連経費が増加し厳しい状況が続く中で、効率的かつ効果的な事業を進めること。また、光熱費や資材価格、人件費の高騰に伴う事業費の増額などが予想される中、迅速な対応と効率的で有効性のある事業の取組と、各事業の決算状況を適切に見直し、継続的な改善に取組むことなどを要望して、認定することに賛成しました。



令和7年度一般会計予算に7,987万5千円を増額補正し、総額は640億5,810万2千円 **補正予算**

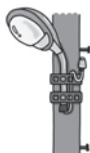
1. 総務費

(1) 市税還付金及び加算金 --- +3,800万円

市内に事業所を有する複数の法人において、法人市民税の多額の還付が続いたことで予算が不足することから増額補正をする。

(2) 防犯灯電気料金高騰対策支援金 --- +430万7千円

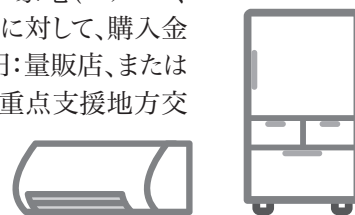
自治会が維持管理している防犯灯について、燃料費や物価高騰の影響により電気料金が値上がりしていることから、電気料金高騰分を補助する。



2. 衛生費

(1) 省エネ家電導入促進事業補助金 -- +3,756万8千円

省エネルギー性能の高い家電(エアコン、冷蔵庫)を買替えた方に対して、購入金額の1/2の額(上限7万円:量販店、または8万円:個人店)を国の重点支援地方交付金を活用し補助する。



トピックス

常陸那珂工業団地の進捗状況について（茨城県事業）

茨城県は、ひたちなか市新光町で造成を進めている常陸那珂工業団地について、8月8日に第1期拡張工事地区のうち第2次分譲分の5区画、計約6.4ヘクタールに本市の製造業3社の立地が決定したことを発表しました。立地する企業は、区画③④は「株式会社高木製作所」、区画⑤⑥は「コロナ電気株式会社」、区画⑦は「水戸精工株式会社」です。第1次分譲分は「JX金属株式会社」が5月に取得しており、第1期拡張工事地区は残り1区画約6.1ヘクタールとなりました。令和8年度完成予定の第2期拡張地区を含めた分譲は、今後の造成工事の進捗状況を踏まえて順次公募する予定になっています。

本事業により、新たな雇用の創出や税収の確保など、本市に直結するメリットとともに、関連する企業の立地や設備投資、そして人口の増加など、幅広く地域の活性化につながる事が期待されます。

ひたちなか工業団地



ハーフタイム

8020（ハチマル・ニイマル）という数字の意味は？。80歳で20歯以上を保つという歯の健康目標です。④永久歯の数は28～32本とされ、高齢になっても歯の喪失が少なければ、支障なく食生活が出来ます。歯の健康を害すると、心身の健康にも影響するため、高齢になるほど歯の喪失が少なく、よく噛めることが生活の質や活動能力につながるといいます。⑤歯科疾患の大半は、歯質が解ける虫歯と、歯と歯茎の炎症である歯周病とされます。虫歯の予防で最も重要なのは、歯磨きの励行で、特に、食べた後磨く、寝る前はより丁寧に磨く習慣が必要だそうです。⑥ドラッグストアに行くと、歯ブラシと歯磨き粉の種類の豊富さに圧倒されます。歯の健康に対する意識が高まる中、歯ブラシは無頼の大小や形状、毛の硬さなど、さまざまな組み合わせが選べます。歯磨き粉も、虫歯や歯周病の予防などの用途で選べます。⑦ひたちなか市では、令和7年度より市民の皆様の健康を守るため、20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳を対象にワンコイン（500円）で歯周病検診を実施しています。10年に一度のチャンスをご活用ください。